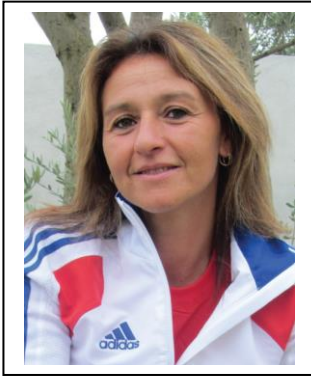


アジリティー： 情熱、何年もの間私の生活の一部になっているもの



私の名前はリンダ・ブラスです。フランスの南部に住んでいて、いつも犬と生活してきました。

1987年、競技が始まったころにアジリティーを始めました。若かった私は犬と楽しい時間を過ごしました。年を重ねるごとに競技会が好きになり、おのずと、2003年の1月にジャッジになりました。情熱的で成功しているチームと仕事をするようになり、アジリティー世界大会にモチベーションを得ました。

夫のオリヴィエ・アディンスが彼のボーダーコリー、オニックス・レッドとトレーニングするのを手伝い、彼は2002年ドルトムント（ドイツ）大会において個人ラージの世界チャンピオンになりました。私のアジリティーにおける最も美しい記憶であり、最高のほこりです！

2008年から2013年、フランスのチームキャプテンであるオリヴィエと仕事をしました。私の仕事はフランスチームが練習する全てのコースを準備することでした（世界大会のジャッジのコースを全て分析しました）。また、フランスチームのメンバーのそばにいて、競技前に信頼と平静を持てるように手助けしました。



今日、私はヨーロッパおよび世界の偉大な競技者を称賛し、外国でジャッジすることを楽しんでます。異なる国々での交流が私を前進させ向上させてくれます。これまで、イギリス、フィンランド、スウェーデン、オーストリア、スイス、ハンガリー、チェコ、イタリア、スペイン…などの国々でジャッジしました。

昨年はヨーロッパ・オープン 2016 のジャッジをするという光栄に預かりました。多くの国々の高レベルの選手たちをジャッジすることは信じられないほど素晴らしい経験でした。チームファイナルのコースを考え、設置し、ジャッジすることは最大のチャレンジでした。

今年は、オーストリアの世界大会選考会とスペインのピリネオス・ドッグ・フェスティバルのジャッジをし、その上、初めて日本でジャッジ・セミナーをすることは非常に大きな喜びであり、大変光栄に思っています。私のジャッジとフランスチームのコーチとしてのささやかな経験を出来るだけ発揮したいと思えます。



11月の大会で皆様にお目に掛かれることを楽しみにしています。

リンダ・ブラス
Judge S.C.C. – France